



## 本学の T 型フォードが小樽クラシックカー博覧会で 展示されたことについて掲載されました

2025 年 10 月 5 日(日) YC 小樽よみうり 第 687 号

「第19回 小樽クラシックカー博覧会」が9月14日、小樽市総合博物館本館・敷地内で行われた。同実行委員会主催。

台の往年の名車が展示された。また機関車庫前には、(株)ニトリホールディングス(公財)似島文化財団と北海道科



会場には、旧車80台が展示



ロールスロイス レイス(1939年)



86トレノ、オーナー内山明生さん



右から、(公財)似島文化財団・本村 豪大 副支配人、北海道科学大学 T 型フォード再生プロジェクト 藤田直也 常任幹事

**大人気 小樽クラシックカー博覧会**  
**往年の名車 80 台集結！ 活気溢れる**

学大学の包括連携協定の一事業「ニトリクラシックカープロジェクト」から、1926(大正15)年製・ブラックの T 型フォード(排気量 2896、1929(昭和4)年製・ブルーの A 型フォード(排気量 3286)、1939(昭和14)年製・クリームツートン色の ロールスロイス レイス(排気量 4257)が披露された。

年に一度開催される同博覧会を楽しみにしている老若男女が集まり、それぞれ笑顔で

熱心に展示車を見て回り、写真を撮ったり、オーナーと会話を楽しんでいる姿も見受けられた。

森田一史実行委員長は「今回は天候にも恵まれました。目玉車はロールスロイス(1939年)とニッサンデイズェル(1973年ですね)」と語った。

